



AS MXF Audio Inserter API

製品マニュアル

2026/8/11版

ver1.0.1

目次

1. はじめに	4
1.1. 本マニュアルについて	4
1.2. 製品概要	4
1.3. 動作環境	4
1.4. 注意点	5
1.5. APIの利用方法	5
2. インストールとセットアップ	6
2.1. ダウンロード手順	6
2.2. インストール方法	6
2.3. クラウドや仮想環境上で動作させる場合	7
2.3.1. クラウドキーの設定方法	7
2.3.2. S3(互換ストレージを含む)を利用する場合	10
2.3.2.1. Path-style設定について	10
2.4. 初回パスワード認証とパスワード設定	12
2.5. ライセンス登録	13
3. ライセンス認証とアクティベーション	14
3.1. ライセンスの更新	19
3.2. ライセンスの解除	21
4. Web管理画面の使い方	23
4.1. アクセス	23
4.2. ログイン	23
4.3. ログイン後の画面の基本	24
4.4. ステータスメニュー	25
4.4.1. ステータス表示メニュー	25
4.5. システム設定メニュー	26
4.5.1. Web UI設定	26
4.5.2. 監視設定	27
4.5.3. プロキシ設定	28
4.5.4. ユーザー管理	29

4.5.5. パスワード変更.....	31
4.6. ライセンスメニュー.....	32
4.6.1. ライセンス設定.....	32
4.6.2. このアプリについて.....	33
4.6.3. OSS／サードパーティライセンス.....	33
4.7. メンテナンスメニュー.....	34
4.7.1. 通知.....	34
4.7.2. ログ.....	34
4.8. ログアウト.....	35
5. トラブルシューティング.....	36
5.1. よくある質問とその解決策.....	36
6. 補足情報.....	38
6.1. ライセンスについて.....	38
7. サポートについて.....	38

1. はじめに

1.1. 本マニュアルについて

このマニュアルは、『AS MXF Audio Inserter API』のインストール方法、ライセンス登録およびWeb管理画面の操作方法を解説しています。

REST APIのリクエスト・レスポンス仕様については、別紙「AS MXF Audio Inserter API版 REST API仕様書」をご覧ください。

1.2. 製品概要

『AS MXF Audio Inserter API』は、MXFまたはMOVファイルの音声をREST APIから差し替えるサーバーソフトウェアです。ファイル情報の取得、音声のWAV書き出し、ラウドネス測定、音声インサートをシステムから自動実行できます。

ローカルファイルに加えて、S3およびS3互換ストレージ上のファイルを入出力に使用できます。利用できる機能は契約プランおよびオプションによって異なります。

1.3. 動作環境

本製品は以下の環境で動作します。

対応OS	Windows10以降(x64) WindowsServer2016以降(x64) MacOS12以上(Intel / Appleシリコン) Linux(x64, ARM64 / Debian系(RaspberryPi OSを含む),Red Hat系)
メモリ	4GB以上を推奨(LinuxでCUI環境の場合 2GB以上)
ストレージ	100MB以上の空き容量 ただし、S3ストレージにリラップ結果のMXFファイルを書き出す場合、書き出す尺10分ごとに約350MiBのストレージが必要です。

1.4. 注意点

本製品は、Web管理画面からファイルを選択して処理するアプリケーションではありません。MXF/MOVに関する処理はREST APIから実行します。Web管理画面は、環境設定やライセンス適用、ユーザー管理、Credential発行などに使用します。

1.5. APIの利用方法

REST API を利用する前に、Web管理画面のユーザー管理からAPIユーザーを作成し、Credentialを発行してください。APIの利用には有効なライセンスと、管理者権限を持つAPIユーザーのCredentialが必要です。

REST APIのリクエスト・レスポンス仕様については、別紙「AS MXF Audio Inserter API版 REST API仕様書」をご覧ください。

2. インストールとセットアップ

2.1. ダウンロード手順

製品のダウンロードは、アンバーサインWebサイトのサブスクリプション管理ページから行います。ダウンロード時に使用許諾契約に同意する必要があります。

2.2. インストール方法

オンプレミスのサーバー上へのインストールは下記の通りとなりますが、クラウドや仮想環境へのインストールは次章の「クラウドや仮想環境上で動作させる場合」もご覧ください。

WindowsおよびMacOS

ダウンロードしたインストーラーを実行し、画面の指示に従ってインストールを進めます。インストール完了後、AS MXF Audio Inserter APIのサービスが常駐し、ブラウザからアクセスできる状態になります。通常は 6326 番ポートを使用しますが、このポート番号が使用中の場合は別の番号になることがあります。

インストール時、AS MXF Audio Inserter APIのWeb管理画面を開くランチャーアプリ（AS MXF Audio Inserter API Portal）が同時にインストールされます。これを実行するとブラウザが開き、管理画面へアクセスできます。

次回以降のアクセス用に、このとき表示されたポート番号をメモしてください。

Linux

ダウンロードした `asmxfaudioinserter_api-x.x.x-linux.tar.gz` を展開し、

```
sudo ./install.sh
```

でインストールできます。インストールが完了した時点で、AS MXF Audio Inserter APIのデーモンが常駐し、ブラウザからアクセスできる状態になります。

インストール後に、稼働しているポート番号が表示されますのでメモしてください。通常は 6326 番ですが、このポート番号が使用中の場合は別の番号になることがあります。

systemdおよびbashが利用できる環境を想定しているため、主にDebian系,Red Hat系はそのままご利用いただけます。

上記以外のLinux (Alpine系など) の場合でも、mxfaudioinserterdをご自身でデーモン化することで利用できます。環境変数などの設定も必要となるため、詳しくはサポートまでお問い合わせください。

2.3. クラウドや仮想環境上で動作させる場合

本ソフトウェアをクラウドや仮想環境上で動作させる場合、ライセンス認証にあたりハードウェアの識別を使用している関係で、インスタンスの再起動等に伴い、ハードウェアが変更されたと識別され、動作を停止してしまう恐れがあります。それを避けるため、当社が別途発行する「クラウドキー」を環境変数に設定する必要があります。クラウドキーは、サブスクリプションと紐づいており、インスタンスの状態が変わってもソフトウェアの使用を継続することが可能となります。

ソフトウェアをクラウドや仮想環境上で動作させる場合は、クラウドキーを発行しますのでアンバーサインサポートまでご連絡ください。(クラウドキーの発行は無料です)

[注意]

ライセンスのアクティベート作業は、クラウドキーを環境変数に登録してから行ってください。先にアクティベート作業を行うと、クラウドキーを利用しないライセンスが発行されます。

2.3.1. クラウドキーの設定方法

当社より発行するクラウドキーを下記の環境変数に設定してください。

AS_MXFAUDIOINSERTER_API_CLOUD_KEY

設定を常駐用の設定ファイルの中に記述することもできます。

ファイルの変更は管理者権限で行う必要があります。

- Linux

systemd設定ファイル

/etc/systemd/system/asmxfaudioinserterv_api.service

上記ファイルに

Environment=AS_MXFAUDIOINSERTER_API_CLOUD_KEY=xxxx...

のように記述を追加します。

設定後、

```
sudo systemctl daemon-reload
```

```
sudo systemctl restart asmxfaudioinserter_api.service
```

で、アプリケーションを再起動して適用してください。

- MacOS

LaunchDaemon設定ファイル

/Library/LaunchDaemons/jp.amber-sign.asmxfaudioinserter_api.plist

上記ファイル(XML形式)の「EnvironmentVariables」タグの下の<dict>タグの中に、

```
<key>AS_MXFAUDIOINSERTER_API_CLOUD_KEY</key>
```

```
<string>xxxx...</string>
```

のように記述します。

設定後、

```
sudo launchctl unload /Library/LaunchDaemons/jp.amber-sign.asmxfaudioinserter_api.plist
```

```
sudo launchctl load /Library/LaunchDaemons/jp.amber-sign.asmxfaudioinserter_api.plist
```

で、アプリケーションを再起動して適用してください。

- Windows

WinSW設定ファイル

C:\Program Files\AS_MXF_Audio_Inserter_API\WinSW-mxfaudioinserterd.xml

上記ファイル(XML形式)に、

```
<env name="AS_MXFAUDIOINSERTER_API_CLOUD_KEY" value="xxxx..." />
```

のように追記します。

設定後、コマンドプロンプトより、

"C:\Program Files\AS_MXF_Audio_Inserter_API\WinSW-mxfaudioinserterd.exe" restart

で、アプリケーションを再起動して適用してください。

(scコマンドや、Windowsサービスの画面から再起動してもOKです)

2.3.2. S3(互換ストレージを含む)を利用する場合

APIのファイルの指定には、S3(互換ストレージ含む)の利用が可能です。
ファイルパスやウォッチフォルダーに、

```
s3://bucketname/xxxx/xxx
```

のように指定してください。

s3にアクセスするためには、環境変数または設定ファイルを用意する必要があります。(AWS CLIのインストールは不要です)

詳しくは[AWSのサイト](#)をご覧ください。

環境変数

```
AWS_ENDPOINT_URL_S3
AWS_REGION
AWS_ACCESS_KEY_ID
AWS_SECRET_ACCESS_KEY
AWS_SESSION_TOKEN
AS_S3_PATH_STYLE (※次章を参照してください)
```

設定ファイル

```
~/.aws/config
~/.aws/credentials
```

2.3.2.1. Path-style設定について

一部のS3互換ストレージでは、Path-style によるアクセスが必要な場合があります。
(Path-styleの例: `https://s3.<region>.amazonaws.com/<bucket-name>/<key>`)

aws cliの場合、~/.aws/config に記述することでPath-styleによるアクセスも可能ですが、本アプリケーションのライブラリではconfigファイルでの指定は対応しておりません(記述しても無視されます)。

パススタイルでのアクセスが必要な場合、環境変数を下記のように指定してください。

- 全てのアクセスをPath-styleにする場合

AS_S3_PATH_STYLE=true

- 一部のバケットに対し、Path-styleを設定する場合
カンマ(,)区切りでバケット名を列挙してください。

AS_S3_PATH_STYLE=bucket-a,bucket-b

2.4. 初回パスワード認証とパスワード設定

インストール後、Web管理画面を開くとパスワード入力画面となります。

初期パスワードは、

ID	admin
パスワード	audioinsert + 現在日付 (yyyyMMdd) (本日が2026/04/01なら、audioinsert20260401)

となります。

サーバー装置の時計がずれていたり、ロケーションの設定がずれているとログインできない場合がありますのでご注意ください。特にクラウド環境では、サーバー内の時計が日本時間でない場合があります。

初期パスワードでのログインが成功すると、パスワード登録画面が表示されます。パスワード登録を行わないとこの先に進めません。任意のパスワードを入力し、登録してください。

パスワード登録が済むまで、本システムは誰でも上記の初期パスワードでアクセス可能な状態ですので、速やかにパスワード登録を行うか、安全なネットワーク上で行ってください。

2.5. ライセンス登録

パスワード登録が完了すると、使用許諾契約への同意とライセンス認証が求められます。
(すでにライセンス登録済みの場合、スキップされます。)

ライセンス登録の詳細は、次章の[ライセンス認証とアクティベーション](#)をご覧ください。

3. ライセンス認証とアクティベーション

ライセンス登録がされていない場合やライセンスが切れるとアクティベーションが必要となります。

ライセンス認証には、オンライン認証とオフライン認証の2通りがあります。
環境に応じた方法でアクティベーションを完了させてください。

- オンラインライセンス認証 **<推奨>**

ソフトウェアがアンバーサインライセンスサーバーにアクセスし、サブスクリプション更新やプラン変更を自動で行います。

なお、商用ライセンスでは、処理数に応じて課金されるケースがございますので、この場合はオンラインライセンス認証が必須となります。

次の手順でライセンス認証を行うことができます。

1. ソフトウェア利用規約に同意のチェックをお願いします。
2. デバイス名を必要に応じて入力してください。サブスクリプション管理画面で表示されますので、わかりやすい名前をつけることをお勧めします。
3. 「アクティベーションする」のボタンを押してください。

4. アンバーサインWebサイトへ遷移します。ログインしていない場合、ログインを求められます。
5. ライセンスを適用するサブスクリプションを選択してください。ユーザーメモ欄に、端末に関するメモを入力することができます。必要に応じて入力してください。
6. 「ライセンスを適用する」ボタンを押してください。ライセンスが適用され、自動的にアプリケーションが使用可能になります。

ライセンスの適用

ライセンスを適用する
デバイス・製品

デバイス名	akinoMacBook-Air-2.local
OS	MacOS (Apple Silicon)
製品	AS MXF Audio Inserter
認証方法	オンライン

適用する
サブスクリプションの
選択

	製品名・プラン名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在のご 利用期間	自動更新	ユーザーメモ
☒	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	

ユーザーメモ

ライセンスを適用する >>



プロキシ経由でインターネットに接続している場合、デフォルトのプロキシ利用設定は「OS設定に従う」になっておりますので、通常はそのままプロキシ経由でオンラインライセンス認証が可能です。

ただし、以下の環境では、プロキシ設定のリンクをクリックして、「静的に指定する」をご選択いただき、プロキシサーバーのアドレスなどを登録してください。

- (MacOSおよびLinux)「自動プロキシ検出」「自動プロキシ構成」を利用してプロキシを利用している環境
- プロキシにID、パスワードが必要な環境

- オフラインライセンス認証

インターネットに接続できない環境でソフトウェアを利用するための方式です。サブスクリプションの更新ごとに手動で新しいライセンスファイルを適用する必要があります。

特にサーバーソフトウェアでは、APIのみを利用されているとライセンス切れに気づかずに動作が停止する恐れがありますので特にご注意ください。

次の手順でライセンス認証を行うことができます。

1. ソフトウェア利用規約に同意のチェックをお願いします。
2. デバイス名を必要に応じて入力してください。サブスクリプション管理画面で表示されますので、わかりやすい名前をつけることをお勧めします。
3. 「デバイス認証ファイルをダウンロード」ボタンを押すと、「AS-Device-authentication.txt」という名前のファイルがダウンロードされます。これがデバイス認証ファイルです。

☒ ソフトウェア利用規約および関連規定に同意します

ライセンス認証に必要な情報を入力してください。

デバイス名

必須ではありませんがサブスクリプション管理画面で表示されるため、分かりやすい名前をつけることをお勧めします。

認証方法 ☐ オンライン
(普段デバイスはインターネットに接続されています) <お勧め>

☒ オフライン
(普段デバイスはインターネットに接続されていません)

オンライン認証の場合、サブスクリプションの更新時に自動でライセンス認証が更新されます。
オフライン認証の場合、サブスクリプションの更新時に手動でライセンス更新を行う必要があります。

デバイス認証ファイルをダウンロード

4. 別のPCなどでアンバーサインWebサイトを開き、「サブスクリプション画面」に「オフラインライセンスを適用する」というメニューがありますのでそれをクリックしてください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動 更新	支払 方法	ユーザーメモ	
1	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理
2	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理
3	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理

[クレジットカード変更および領収書発行](#) >>

オフラインライセンスの適用・解除はこちら

- >> オフラインライセンスを適用する（デバイス認証ファイルが必要です）
- >> オフラインライセンスを解除する（ライセンス解除要求ファイルが必要です）

5. 「オフラインによるライセンス適用」画面で、さきほどダウンロードした「デバイス認証ファイル」を読み込ませてください。
6. ライセンスを適用するサブスクリプションを選択してください。ユーザーメモ欄に、端末に関するメモを入力することができます。必要に応じて入力してください。
7. 「ライセンスを適用する」ボタンを押してください。「ライセンスファイル」(AS-License.txt) がダウンロードされます。

オフラインによるライセンス適用

デバイス認証ファイル

ファイルを選択

AS Device...tion (14).txt

ライセンスを適用する
デバイス・製品

デバイス名

akinoMacBook-Air-2.local

OS

MacOS (Apple Silicon)

製品

AS MXF Audio Inserter

認証方法

オフライン

適用する
サブスクリプションの
選択

	製品名・プラン名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動更新	ユーザーメモ
☒	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	

ユーザーメモ

<< [元のページへ戻る](#)

[ライセンスを適用する](#) >>

8. ソフトウェアのライセンス認証画面に戻り、一番下にある「オフラインライセンス登録」のメニューから、先ほどダウンロードしたライセンスファイル

を読み込ませ、「ライセンスを登録する」ボタンを押してください。これでアプリケーションが使用可能になります。

オフラインライセンス登録

※オンライン認証の方はこの機能は使用しません

サーバーからダウンロードしたライセンスファイルを登録してください。

ライセンスファイルの登録

ファイルを選択

選択されていません

ライセンスを登録する

3.1. ライセンスの更新

オフラインライセンスの場合、サブスクリプション期間の更新の際に、新しいライセンスファイルを適用する必要があります。新しいライセンスの適用は、現在のライセンス期間終了後、猶予期間（通常14日間。トライアルの場合、3日間）内に行うことができます。猶予期間を過ぎるとアプリケーションが使用不可になりますのでご注意ください。

1. アンバーサインWebページの「サブスクリプション管理」画面の中の「デバイス管理」ボタンを押してください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払いサイクル	現在のご利用期間	自動更新	支払方法	ユーザーメモ	
1	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
2	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
3	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理

2. 「デバイス管理」画面から、新しいライセンスを適用したいデバイスのライセンスファイルをダウンロードしてください。

デバイスの管理

製品名	契約数	登録数	支払いサイクル	現在のご利用期間	自動更新	ユーザーメモ
AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	

No.	端末・サーバー名	OS	登録日	認証方法	お知らせ	ユーザーメモ
1	akinoMacBook-Air-2.local	MacOS (Apple Silicon)	2025/4/12	オフライン		ライセンスファイル

3. ソフトウェアの管理画面に遷移し、「ライセンス更新」メニューから先ほどダウンロードしたライセンスを選択してください。「ライセンス期限」が更新されれば完了です。

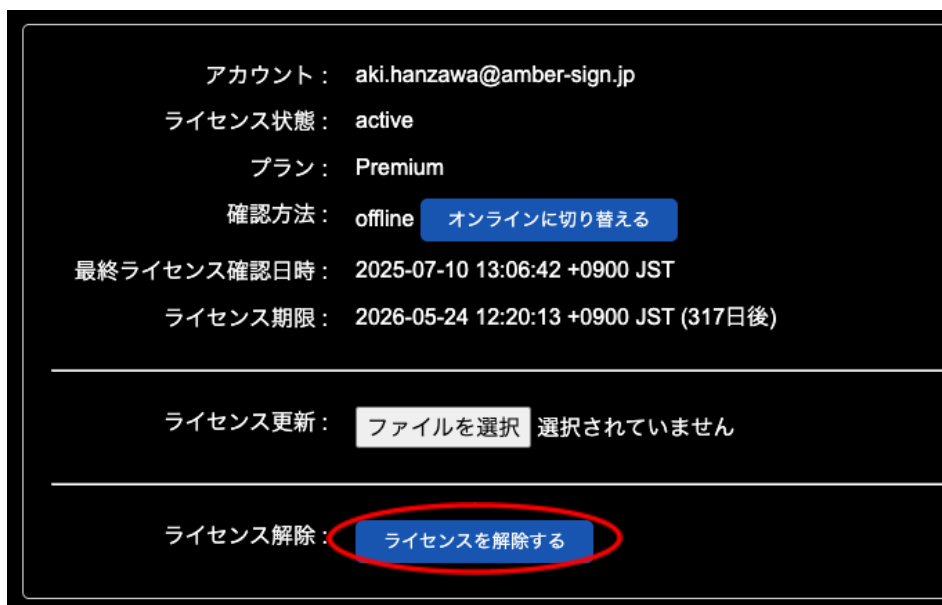
アカウント :	aki.hanzawa@amber-sign.jp
ライセンス状態 :	active
プラン :	Premium
確認方法 :	offline オンラインに切り替える
最終ライセンス確認日時 :	2025-07-10 13:06:42 +0900 JST
ライセンス期限 :	2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)
ライセンス更新 :	ファイルを選択 選択されていません
ライセンス解除 :	ライセンスを解除する

※ オンラインライセンスの場合、自動的に新しいライセンスが適用されますので何もする必要はありません。

3.2. ライセンスの解除

端末やサーバーの更新などでライセンスを移行する必要がある場合、現在ご利用中の端末・サーバーからライセンスを解除し、新しい端末・サーバーに改めてライセンスを適用していただくことができます。

1. ソフトウェアの管理画面に遷移し、「ライセンス解除」ボタンを押してください。
オンラインライセンスの場合、以上でライセンスの解除は完了です。解除した端末・サーバーではもうソフトウェアはご利用いただけません。アンバーサインWebサイトより、ライセンスが戻っていることをご確認ください。
オフラインライセンスの場合、「ライセンス解除要求ファイル」(AS-Request-Deactive.txt)がダウンロードされます。この時点で端末ではソフトウェアがご利用いただけなくなります。「ライセンス解除要求ファイル」をアンバーサインWebサイトより正しく適用しないと、ライセンスが利用不能になりますのでご注意ください。



The screenshot displays the 'License Management' page of the Amber Sign software. It shows the following details:

- アカウント: aki.hanzawa@amber-sign.jp
- ライセンス状態: active
- プラン: Premium
- 確認方法: offline (with a button to 'オンラインに切り替える')
- 最終ライセンス確認日時: 2025-07-10 13:06:42 +0900 JST
- ライセンス期限: 2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)

Below these details, there are two sections:

- ライセンス更新:** A button labeled 'ファイルを選択' (Select File) and the text '選択されていません' (Not selected).
- ライセンス解除:** A button labeled 'ライセンスを解除する' (Deactivate License), which is circled in red in the image.

2. アンバーサインWebサイトに遷移し、サブスクリプション管理画面下部の「オフラインライセンスを解除する」をクリックしてください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動 更新	支払 方法	ユーザーメモ	
1	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
2	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
3	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理

[クレジットカード変更および領収書発行 >>](#)

オフラインライセンスの適用・解除はこちら

» オフラインライセンスを適用する (デバイス認証ファイルが必要です)

» オフラインライセンスを解除する (ライセンス解除要求ファイルが必要です)

3. ライセンス解除画面で、先ほどダウンロードした「ライセンス解除要求ファイル」を入力し、「ライセンスを解除する」ボタンを押してください。これで解除したライセンスが再び使用可能な状態に戻ります。

ライセンスの解除

ライセンス解除要求ファイル AS Reque...ctive (1).txt

デバイス情報

デバイス名 akinoMacBook-Air-2.local
OS MacOS (Apple Silicon)
認証方法 オフライン
ユーザーメモ

解除するライセンス

製品 AS MXF Audio Inserter Client Standard
契約期間 トライアル中 2025/4/24まで
自動更新 有
契約数 1
登録数 1 → 2
ユーザーメモ

[« 元のページへ戻る](#)

[ライセンスを解除する »](#)

4. Web管理画面の使い方

4.1. アクセス

ブラウザを開き、インストール時に表示されたポート番号へHTTPでアクセスしてください。例えば、サーバーのIPアドレスが10.10.10.10で、ポート番号が 6326番の場合、アクセス先は次のとおりです。

`http://10.10.10.10:6326/`

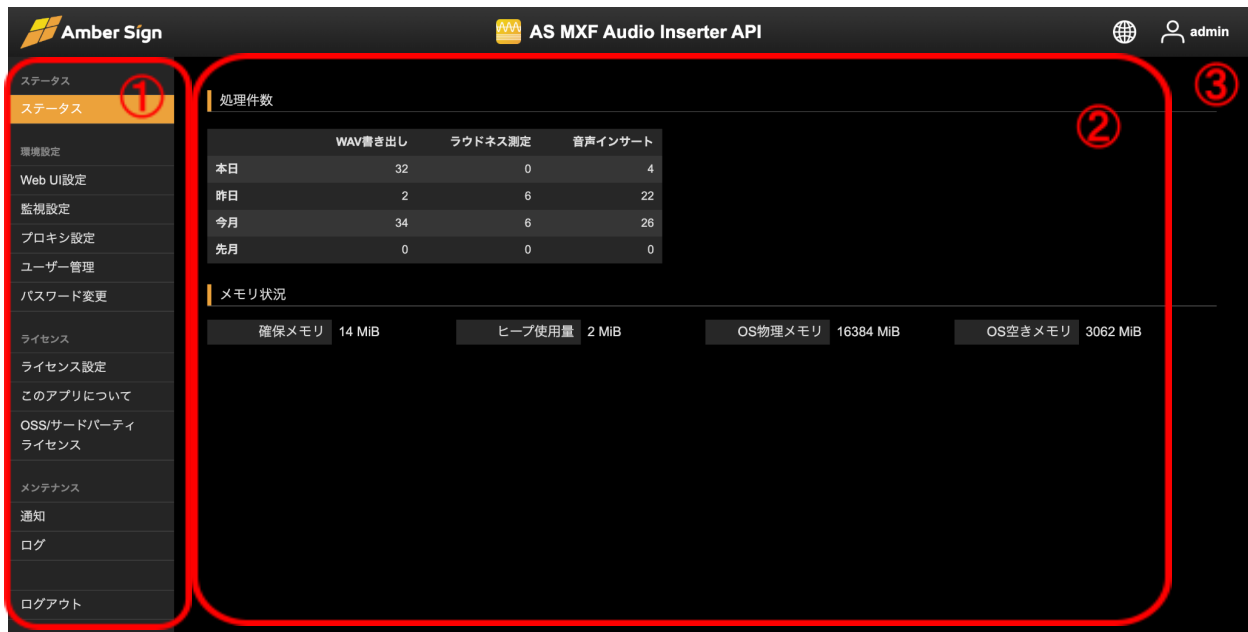
なお、Windows版・macOS版をお使いの場合、「AS MXF Audio Inserter API Portal」のアイコンを起動すると、ブラウザが起動し、Web管理画面が開きます。

4.2. ログイン

Web管理画面を利用するにはログインが必要です。ID、パスワードを入力し、ログインしてください。ログイン後、一定時間が経過すると自動でログアウトされます。（一部の画面を除く）

4.3. ログイン後の画面の基本

ログインすると、下記の画面に遷移します。



メニューエリア(①)

各設定のメニューに遷移できるエリアです。

メインエリア(②)

選択したメニューの内容が表示されるエリアです。

ログイン表示(③)

ログイン中のIDが表示されます。クリックすると、ログアウトのメニューが表示されます。



4.4. ステータスメニュー

4.4.1. ステータス表示メニュー

AS MXF Audio Inserter APIの状態を表示するメニューです。本画面は1分ごとに自動更新されます。

ステータス	処理件数		
ステータス			
環境設定			
Web UI設定			
監視設定			
プロキシ設定			
ユーザー管理			
パスワード変更			
ライセンス			
ライセンス設定			
このアプリについて			

	WAV書き出し	ラウドネス測定	音声インサート
本日	32	0	4
昨日	2	6	22
今月	34	6	26
先月	0	0	0

メモリ状況			
確保メモリ	14 MiB	ヒープ使用量	2 MiB
OS物理メモリ	16384 MiB	OS空きメモリ	3062 MiB

各項目の意味は以下のとおりです。

【処理件数】

本日、昨日、今月、先月の「WAV書き出し」「ラウドネス測定」「音声インサート」の正常完了件数を表示します。日付および月の区切りはUTCで集計されるため、日本時間では午前9時に日付が切り替わります。

【メモリ状況】

サーバーアプリケーションがOSから確保しているメモリと、そのうち実際に使用しているメモリ(ヒープ)、OSの物理メモリ量、OSの空きメモリ量が表示されます。

特にクラウド環境で、メモリ量に制限がある場合にこちらの状態を参考にしてください。

4.5. システム設定メニュー

システム全般の設定を行うメニューです。

4.5.1. Web UI設定



The screenshot shows a dark-themed settings window titled 'Web UI設定'. It contains three main configuration rows: 'Web UIポート番号' with a text input '9377'; 'Web UI 接続可能アドレス範囲' with a text input '0.0.0.0' and a dropdown '0' followed by a help icon; and 'サーバーURL' with a dropdown '自動' and a text input 'http://192.168.1.140:9377/' followed by a help icon. A blue 'Save' button is located below the 'サーバーURL' row.

Web UIポート番号

Web設定画面のポート番号を指定できます。デフォルトから変更したい場合にご利用ください。

Web UI接続可能アドレス範囲

Web設定画面に接続可能なIPアドレスの範囲を指定できます。デフォルトは、0.0.0.0/0(すべてのアドレスから接続可)です。

本機能で接続可能なアドレス範囲は一種類のみとなりますので、複雑な制御をしたい場合は、OSやFWの機能をご利用ください。

サーバーURL

Web設定画面やAPIに接続するアドレスやURLを指定します。

この設定をしなくてもWeb設定画面への接続はできますが、ここで指定したURLが、APIの返り値でURLを返す場合などに利用されるため、有効な値を指定してください。

「自動」「手動入力する」およびNICのアドレスから選択できます。

自動を選択した場合、既存のNICの若いものから一つ選択されます。

「手動入力する」を選択した場合、URLを手入力することができます。

これは例えばローカルのアドレスと公開アドレスが異なる場合や、DNS名でアクセスさせたいケースなどに任意に指定してください。

4.5.2. 監視設定

本システムでは、HTTPヘルスチェックとSNMP Trap送信に対応しています。(SNMP MIBには対応しておりません。)

監視の詳細については、監視についてをご覧ください。



監視用httpポート番号	9378
監視用http接続可能アドレス範囲	127.0.0.1 / 32
Community	public
Trap通知先	10.10.10.10
<button>Save</button>	

監視用httpポート番号

HTTPヘルスチェックのポート番号を指定します。デフォルトは、9378番です。

監視用http接続可能アドレス範囲

Web設定画面に接続可能なIPアドレスの範囲を指定できます。デフォルトは、127.0.0.1/32(ローカルのみ)です。

本機能で接続可能なアドレス範囲は一種類のみとなりますので、複雑な制御をしたい場合は、OSやFWの機能をご利用ください。

Community

SNMP Trapのコミュニティ名を設定します。

Trap通知先

SNMP Trapの通知先をIPv4アドレスで指定しています。複数設定可能です。複数設定した場合、コミュニティ名は同一となります。

4.5.3. プロキシ設定

プロキシ環境化で、ライセンス認証をオンラインで行うために必要な設定です。



プロキシ設定 : OSの設定に従う ▼

Save

プロキシ設定

「OSの設定に従う」「静的に指定する」「使用しない」が選択できます。

デフォルトは「OSの設定に従う」です。「静的に指定する」を選択した場合、プロキシサーバーを指定する入力項目が表示されます。お使いの環境に合わせて登録してください。



プロキシ設定 : 静的に指定する ▼

サーバー :

ポート :

ID :

パスワード : パスワードは暗号化されずに送信される場合があります

Save

4.5.4. ユーザー管理

本システムを管理・使用するユーザーを登録・変更するメニューです。

ユーザー管理

admin
elle

①

② ユーザーID admin

③ ☐ APIユーザー

パスワード

④ パスワード確認

管理者 ☒ 管理者権限あり ⑤

Save

+ -

ユーザー選択(①)

情報を確認・変更するユーザーを選択します。

+ボタンで新規ユーザーの追加ができます。

-ボタンで表示中のユーザーの削除ができます。

ユーザーID(②)

新規登録時にIDを入力します。一度設定したIDは変更できません。IDに使用可能な文字は、アルファベット(大文字・小文字を区別します)、数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、.(ピリオド)、@(アット)です。

APIユーザー(③)

API用のユーザーを登録する時にオンにします。新規登録時のみ設定可能です。

APIユーザーの場合、パスワードの代わりにCredentialが発行されます。

Credentialの発行ボタンを押すと、Credentialを記載したテキストファイルがダウンロードできます。無くさないよう保管してください。

機構上、同じCredentialは再発行できません。再発行した場合、現在のCredentialは無効になりますのでご注意ください。

ユーザーID APITESTUSER ☒ APIユーザー

Credential 発行する

APIについての詳細はAPI仕様書をご覧ください。

パスワード入力欄(④)

設定するパスワードを入力してください。既存ユーザーの場合、「変更する」のチェックボックスをオンにして入力してください。

パスワードは[パスワード変更](#)メニューからユーザー自身に変更することも可能です。

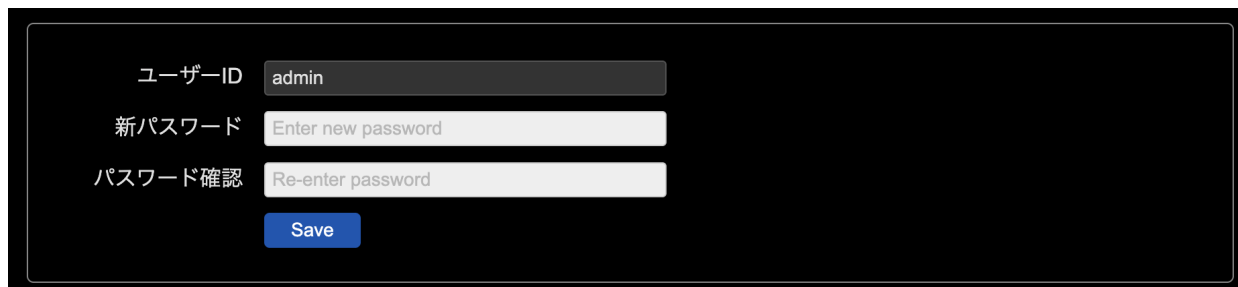
管理者(⑤)

ユーザーに管理者権限をつける場合にオンにしてください。

非管理者は、システムの設定変更権限はなく、表示のみ可能です。

4.5.5. パスワード変更

ログインしているユーザーのパスワードを変更する画面です。
新パスワードを入力し、セーブボタンを押してください。

A screenshot of a password change form. The form is set against a dark background. It contains three input fields: 'ユーザーID' (User ID) with the value 'admin', '新パスワード' (New Password) with the placeholder 'Enter new password', and 'パスワード確認' (Password Confirmation) with the placeholder 'Re-enter password'. Below these fields is a blue 'Save' button.

ユーザーID	admin
新パスワード	Enter new password
パスワード確認	Re-enter password
<button>Save</button>	

4.6. ライセンスメニュー

4.6.1. ライセンス設定

ライセンスの状況確認や、更新、解除が行えるメニューです。

① アカウント : aki.hanzawa@amber-sign.jp
ライセンス状態 : active
プラン : Premium
確認方法 : offline オンラインに切り替える ②
最終ライセンス確認日時 : 2025-07-10 13:06:42 +0900 JST
ライセンス期限 : 2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)

ライセンス更新 : ファイルを選択 ③ 選択されていません

ライセンス解除 : ライセンスを解除する ④

ライセンス状態(①)

ライセンスが有効かどうかの情報、ライセンス認証方法、期限などを表示します。

オンライン・オフライン切り替え(②)

オンラインとオフラインを切り替えることができます。オフラインで登録していたが、インターネットが接続可能になった場合などに実施してください。

切り替えはインターネットに接続できる状態でのみ行うことができます。

ライセンス更新(オフラインライセンス認証時)(③)

ライセンスが更新になった場合や、プランを変更した場合などに、新たにライセンスファイルを適用することができます。アンバーサインWebサイトからダウンロードしたライセンスファイルを入力してください。

ライセンスファイルはご利用のデバイスに紐づいていますので別のデバイス用のライセンスを入力するとエラーになります。

ライセンス確認(オンラインライセンス認証時)(③)

ライセンス確認： [ライセンス情報を更新する](#)

オンラインライセンス認証モードでは、「ライセンス情報を更新する」ボタンになります。ライセンス期限更新時やプランを変更して、ライセンスの最新情報をすぐに適用したい場合に押してください。（押さなくても半日～1日ほどで自動的に適用されます。）

ライセンス解除(④)

端末の故障や更新時に、もうこのデバイスでアプリを使用しない場合にライセンス解除を行うことができます。解除を行うと、アプリは使用不能となり、解除したライセンスを別のデバイスに適用することができます。

4.6.2. このアプリについて

ソフトウェアのバージョン情報、および、ソフトウェア利用規約および関連規程を表示します。

4.6.3. OSS／サードパーティライセンス

Open Source Softwareや、その他ライセンスを表示します。必要に応じてご覧ください。

4.7. メンテナンスメニュー

4.7.1. 通知

システムから通知が表示されます。

通知 過去30件までの通知を表示しています

日時	レベル	内容
2025-09-18 19:05:10	Information	{"Msg": "Start AS NMOS Matrix."}

4.7.2. ログ

ログのダウンロード、および、リアルタイムでログが確認できます。
サポートが必要な場合などにご利用ください。

ログのダウンロード

Select log files to download

Download

リアルタイムログ

```
2025/09/20 17:51:00.097607 common_func_log.go:162: Debug : e.GetSDP bcd6b24e-2ac5-5eaa-af2a-ddd46ba6e97c, err=Get
"http://10.26.0.20:8090/x-nmos/connection/v1.1/single/senders/bcd6b24e-2ac5-5eaa-af2a-ddd46ba6e97c/transportfile": dial tcp
10.26.0.20:8090: connect: connection refused, [nm_getStagedLoop.go:85] main.(*NMOSMatrixStruct).getStagedLoop.func2
2025/09/20 17:51:00.097705 common_func_log.go:162: Debug : e.GetStaged 52d54d62-a4cf-526b-a48f-ead0e38e5cf6, err=http.Get error :
Get "http://10.26.0.20:8090/x-nmos/connection/v1.1/single/receivers/52d54d62-a4cf-526b-a48f-ead0e38e5cf6/active": dial tcp
10.26.0.20:8090: connect: connection refused, [nm_getStagedLoop.go:72] main.(*NMOSMatrixStruct).getStagedLoop.func2
2025/09/20 17:51:00.097788 common_func_log.go:162: Debug : SDP Get error : Get "http://10.26.0.20:8090/x-
nmos/connection/v1.1/single/senders/8df4e482-c394-54a1-8729-3bd05540d2dc/transportfile": dial tcp 10.26.0.20:8090: connect:
connection refused, [nmos_is05_patch.go:150] github.com/AmberSign/nmos.(*Endpoint).GetSDP.func1
2025/09/20 17:51:00.097831 common_func_log.go:162: Debug : e.GetSDP 8df4e482-c394-54a1-8729-3bd05540d2dc, err=Get
"http://10.26.0.20:8090/x-nmos/connection/v1.1/single/senders/8df4e482-c394-54a1-8729-3bd05540d2dc/transportfile": dial tcp
10.26.0.20:8090: connect: connection refused, [nm_getStagedLoop.go:85] main.(*NMOSMatrixStruct).getStagedLoop.func2
2025/09/20 17:51:00.098022 common_func_log.go:162: Debug : e.GetSDP 4c06cdd7-d8df-410a-bcb1-d6d21e289a57,
err=url=http://10.26.0.31:10000/x-nmos/connection/v1.1/single/senders/4c06cdd7-d8df-410a-bcb1-d6d21e289a57/transportfile,
status=404, [nm_getStagedLoop.go:85] main.(*NMOSMatrixStruct).getStagedLoop.func2
2025/09/20 17:51:00.098192 common_func_log.go:162: Debug : e.GetSDP b9ea004a-edfc-4529-b10a-67781bfee86e,
err=url=http://10.26.0.31:10000/x-nmos/connection/v1.1/single/senders/b9ea004a-edfc-4529-b10a-67781bfee86e/transportfile,
status=404, [nm_getStagedLoop.go:85] main.(*NMOSMatrixStruct).getStagedLoop.func2
2025/09/20 17:51:00.098361 common_func_log.go:162: Debug : e.GetSDP 7a794424-db4b-4583-8199-0102cfefca89,
err=url=http://10.26.0.31:10000/x-nmos/connection/v1.1/single/senders/7a794424-db4b-4583-8199-0102cfefca89/transportfile,
status=404, [nm_getStagedLoop.go:85] main.(*NMOSMatrixStruct).getStagedLoop.func2
```

4.8. ログアウト

Web設定画面からログアウトします。

5. トラブルシューティング

5.1. よくある質問とその解決策

Q. Web管理画面からファイルを選択して音声インサートを実行できますか？

A. できません。本製品はREST APIによるシステム連携・自動処理に特化しています。Web管理画面は、ライセンス、ユーザー、Credential、ポート、監視、プロキシなどの管理に使用します。

Q. APIを呼び出すと401エラーになります。

A. 管理者権限を持つAPIユーザーから発行したCredentialを、AuthorizationヘッダーにBearer形式で指定してください。Credentialを再発行すると、それまでのCredentialは無効になります。

Q. APIを呼び出すと403エラーになります。

A. ライセンスが有効か確認してください。また、MOV使用可否、ラウドネス測定など、契約プランやオプションによって利用可否が異なる機能があります。ライセンス設定画面に表示される利用可能機能も確認してください。

Q. 処理APIからjob IDが返りましたが、結果はどこで確認しますか？

A. GET /api/v1.0/jobs/{id}/status をポーリングしてください。job情報は処理完了後24時間で削除され、サーバープロセスを再起動した場合もクリアされます。

Q. 処理をキャンセルすると入力ファイルは元に戻りますか？

A. directモードは入力ファイルを直接書き換えるため、キャンセルまでに書き込まれた内容は元に戻りません。copy／rewrapモードおよびWAV書き出しでは、不完全な出力ファイルは原則として削除されます。詳細な例外はREST API仕様書をご覧ください。

Q. 同時実行中の別ジョブと同じ出力先を指定できますか？

A. できません。書き込み先が別の実行中ジョブと重複する場合、409 Conflict が返ります。directモードではinput_file、copy／rewrapモードではoutput_fileが書き込み先として扱われます。

Q. クラウド環境(AWSやGCPなど)でも動作しますか？

A. はい。ただし、インスタンス再作成などによるハードウェア識別変更でライセンスが停止することを避けるため、無料のクラウドキーの発行をご依頼ください。

Q. S3またはS3互換ストレージ上のファイルを扱えますか？

A. 対応しています。s3://bucket-name/path/to/file.mxf の形式で指定し、AWSの環境変数または設定ファイルに認証情報とリージョンを設定してください。S3上の入力ファイルにはdirectモードを使用できません。

Q. Fragmented MOVを処理できますか？

A. 処理対象外となりエラーとなります。例外として、/fileinfo による情報取得のみ可能となっています。

6. 補足情報

6.1. ライセンスについて

『AS MXF Audio Inserter API』は、「目的」および「サーバー台数」ごとに1つ必要です。「目的」とは、本製品を組み込む対象となる独立した業務システムやワークフロー（例：番組納品システム、報道編集システム、アーカイブシステム等）を指します。

開発時に、本番用ライセンスより安価な開発用ライセンスを発行することができます。開発用ライセンスは月単位でご購入が可能です。機能制限はありませんが開発用ライセンスでは本番運用を行うことはできません。

7. サポートについて

ご不明な点がございましたら、以下のサポート窓口までお問い合わせください：

Webフォーム：<https://www.amber-sign.jp/contact/>

メール：support@amber-sign.jp

サポート対応時間：平日 10:00～18:00（土日祝および当社が定める休日を除く）

継続課金型サービス（サブスクリプション）ユーザー向けサポート規程

<https://www.amber-sign.jp/terms/subscription.html>